

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-192
研究課題名 左側開胸下胸部下行および胸腹部大動脈置換術における選択的脳還流
研究期間 西暦 2014年07月（倫理委員会承認後）～2015年 06月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療録 )
上記材料の採取期間 西暦 2000年01月～2013年12月
意義、目的 左側開胸による胸部下行および胸腹部大動脈置換術は、従来の左心バイパス・単純遮断を用いる手法に加え、近年では低体温・循環停止法が開発され、手術死亡の低減など良好な臨床成績が報告されている。一方で、脳神経合併症は約8%と未だ高率で見られ、特に TEVAR 後などの再手術症例や感染性大動脈瘤など、中枢側吻合手技が煩雑性故に長時間の循環停止を強いられる症例では、その発症率は上昇する。当施設では、循環停止下の中枢側吻合において、通常の高体温法に加え、選択的脳還流法(SCP)を併用することで、良好な脳神経合併症回避率を実現している。今回、この選択的脳還流併用の中枢側循環停止法を用いた胸部下行および胸腹部大動脈置換術における当院での手術成績を検討し、今後の手術術式改善の一助とすることを目的とする。
方法 2007年8月から2013年12月までに当施設にて施行された胸部下行および胸腹部大動脈置換術のうち、中枢側循環停止+選択的脳還流を用いた SCP 群について、診療録をもとに後方視的に検討する。また、2000年1月から2006年12月までに施行された中枢側循環停止法のみ CA 群についても同様に解析、比較検討を行う。診療録より収集する項目は手術時間、人工心肺時間、脳分離灌流時間、術後早期成績(死亡・脳合併症・心血管合併症の有無)、術後長期成績(死亡・脳合併症・心血管合併症の有無)など。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学心臓血管外科 医局 仙台市青葉区星陵町1-1 2号館3階 TEL 022-717-7222 齋木佳克，細山勝寛